

報告「インドネシア・ロンボク島地震災害支援」プロジェクト

2018年7月及び8月に発生したロンボク島大地震を受けて、ゆいツールでは「ロンボク島地震災害支援」プロジェクトを立ち上げました。

多くの方にご支援をいただき、下記の支援を実施したことを報告します。

【地震について】震源地はいずれもロンボク島北東部

1. 2018年7月29日（日）午前6時47分（現地時間）、マグニチュード6.4
2. 2018年8月5日（日）午後6時46分（現地時間）、マグニチュード6.9
3. 2018年8月19日（日）午後10時56分（現地時間）、マグニチュード7.0

【支援金募集期間】

2018年8月中旬～9月末

【集まった支援金／支援者の数】

1. 銀行振り込み他 854,538円（104人・団体より）
2. クラウドファンディング 542,000円（83人のパトロンより） 合計 1,396,538円

【支給したテントについて】

規格 幅6m×長さ14m×高さ3m 子ども60人収容可能
インドネシア製（ジャカルタで製作）、通常軍隊が使用するもの
6,000,000ルピア（ジャカルタからロンボクへの配送料込）/棟（約46,000円）

【支給したテントの数など】

1. 大型テント 21個 966,000円
2. ブルーシート 12枚（マスマス村のハビブさんへ）33,000円
3. 屋根材の提供 2校分（1校分あたりテント1棟と同じ金額）92,000円
4. ペットボトルの水（段ボール13個分）（東ロンボクスンバルン地区へ）3,660円
5. ギリ・メノ島のディアナ・バンガロー支援 40,000円（特定の支援者より）
6. その他
 - △クラウドファンディングプレスリリース配信料 32,400円
 - △クラウドファンディング手数料 75,880円
 - △送金手数料 5,920円
 - △ゆいツール管理費 14,880円（主にお礼用に後日ヤシ砂糖を購入）
 - △フリップ製作費（JICA隊員の依頼により）3,848円
 - △その他 ロンボク島内配送費など 30,750円

計 1,298,338円

【現地調査】

提供したテントの状況確認を、下記の時期に行った。

2018年10月、12月、2019年1月

【残った支援金について】

12月に現地を見に行った際に、被害のあった学校にはすべて何らかの支援が入っており、ゆいツールが提供したテントも、片付けられているところが多かった。支援金の残りをどう使うか、今後ゆいツール内で議論していく予定である。

残った支援金 98,200円

【現地の様子】



地震直後（西ロンボク）



提供したテント



NGO 提供の仮設住宅



ブルーシートで作った簡易住宅